
麻生リトル・ラグーマン



神奈川県川崎市

麻生ラグビースクール

『25年度』一年間有難うございました!!

校長 三浦 幸宏

25年度も3月30日の卒業式を持って終了となります。4月14日の総会でご承認を頂いた事業計画も多少の変更はありましたが無事終了することが出来ました。

今年度は麻生ラグビースクール創立35周年を迎え、3月23日に35周年記念イベントを開催しました。昼の部はグリーンクラブラグビースクールを日本大学稲城グラウンドに招待をして記念試合を行いました。夜の部は新百合ヶ丘駅前の『ホテルモリノ』でトンガ王国駐日全権大使のタニア様初め、近隣スクール校長の方々、日本大学ラグビー部の加藤 HC と学生、国政に復帰した松沢 OB コーチ、OB とご父兄、そして OB コーチの方々に参加を頂き無事に終了する事が出来ました、これも偏に関係者各位が事前準備に万全を期し、打合せを重ねて来た事と当日にお手伝いを頂いたスタッフの協力があっての事です。ここで改めてお礼申し上げます。

さて、ここ数年、小学部及び中学部での子供達の生徒数が120名前後を推移しております。1学年15～20人前後で2チーム組める人数が望ましく全体で180～200名位が理想的な人数とっております。使用させて頂いている日本大学のグラウンドでは充分対応可能ですので募集活動にもご協力をお願い致します。

小学部を卒業する子供たちへ、県大会やファイナルカップ1日目も素晴らしい試合をしてくれましたが、ファイナルカップ2日目の試合、特に横浜 RS との3位決定戦はどうでしたか？試合前の練習時では気合いの入った練習をし、小学部最後の試合に臨む時に皆で輪を作り笑顔でリラックスしてから掛け声を掛けてグラウンドに入って行きましたね、試合には負けましたが後半は素晴らしいプレイでした。やっとみんなが一つになれたと思いました。『all for one, one for all』遣れば出来ると云う事を学んでくれたと思います。

中学部3年生・小学部6年生卒業おめでとう！これから長い人生の君達には麻生ラグビースクールでラグビーを通して学んだ、スポーツの素晴らしさ・集団行動・思いやり・優しさ・礼儀・忍耐・助け合い等を学んだ時間や経験は財産です。その中でも夏合宿の事が一番思い出に残る事でしょう。あの厳しい練習に耐えることが出来た事、素晴らしい事です。必ず役に立ちます。『自信と誇りと勇氣』を持ち麻生 RS 出身者として胸を張って下さい。君たちの活躍を楽しみにしています。校長もグラウンドでまだまだ頑張ります！

最後になりますが、今年度もコーチの皆様には大変ご協力をいただきました事この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

次年度もチャレンジ精神を持って、子供・親・コーチと三位一体で『次代を背負う若者づくり』に邁進したいと思いますので皆様のご協力をより一層お願い申し上げます。

平成25年度のまとめ

幹事長 加賀 司

3/23の35周年記念式典と記念試合、3/30の卒業式を残して、全ての行事が終わります。麻生ラグビースクールの役員・コーチの方やご父母の皆さんの多大なご協力を頂き、無事に1年間を終えることができることに感謝いたします。どうもご苦労様でした。そしてありがとうございました。

- ・今年度を振り返りますと4月以降に入校した生徒は27人と昨年の8人から大幅増です。今後も積極的な募集活動を継続して200人規模のスクールにしたいものです。
 - ・年少：中司タケキ君、萩原カナコちゃんの2人
 - ・年中：杉野トウゴ、福間リクト、佐藤トキ、吉田ユウマ、降旗シンノスケ、古川アツヤ、渦岡ケイタ、長江ユウタロウ、羽田コウタロウ君の9人
 - ・年長：西岡ソウスケ君、菅田アオイちゃん、笹崎ゼンタロウ君の3人
 - ・1年：荒木シュウマ、片岡ユウキ、日笠アツト、佐藤タクミ君の4人
 - ・2年：近藤リョウマ、小田部コウタ君の2人
 - ・3年：福田ジョウジ、佐々木レント、古川タツヤ君の3人
 - ・4年：池田コウキ、久松トム、森ソラ君の3人
 - ・6年：野村カズキ君の1人
 - ・中学1年：安井、伊藤、宮澤、濱田、中司、菅原、大坪、佐藤、斎藤、川原、大森、萩原、西野、大竹、安藤君が進級しました。
- ・新人コーチは笹崎順平さんと井上裕介さん（卒業生）の2人でした。また、1～3月末で退任されたコーチは風間 麿、清水 翔太、宇田 洸希、中西 貢、實方 恵太、亀田 直幹、田中孝太郎さんです。長い間ご指導頂き、ありがとうございました。
- ・ジャージ類の販売については一昨年度の途中から「シンコースポーツ」に個別注文する方式に変更しました。これを機会にジャージは今までの赤紺から柿色と赤紺のリバーシブルタイプに変更し、背番号と名前も印刷されるものに変更されました。そのため、6年生が着るオレンジジャージは今年が最後となりました。
- ・1月12日に行われた恒例のもちつき大会は6年父母による前日からの仕込みにより、参加者全員満足して頂けました。今年は良い写真がないため、スケジュール表を貼り付けしました。

まき. 10条 新聞紙
当日18:30
044-926-2520

2013年度 もちつきスケジュール

12/1日 資料発注 家庭スプレー
12/1日 商品確認 仮払金受け取り

日	時間	内容	備考
1月12日 土曜日	13:00	集合 北上町原由 資料輸入 仮払金届	3名以上で行って下さい
	17:00	片付け終了 片付け終了 片付け終了	
	18:00	解散	
	19:00		
	19:00	解散し原由 6年父母主催者 片付け	
	8:00	つぎ原由 片付け	
	8:00	こどもつぎ原由	
	10:00		
	12:00	片付け 片付け 片付け	
	13:00		

朝日に濡れた状態にする
うどん系を白濁日に入れるだけにしておく

朝日は約20分程度づつで回転できるように
1回の手は20分、1回で終了させたい
朝日に2回分ずつビニール袋に入れて転送
つきあがった朝日に「からみ」のり(きんこ)があんこ(お好み)に絡める

漬物は、朝日に準備し、冷蔵庫に入れておく

時間	ぎんぎ	せいら	せいら②	つき
7:00	1			
7:20	2			
7:40	3			
8:00	4			
8:20	5	4		2
8:40	6	5		3
9:00	7	6		4
9:20	8	7		5
9:40	9	8		6
10:00	10	9		7
10:20		10		8
10:40			10	9
11:00				10
11:20				
11:40				
12:00				
12:20				

せいら①を蒸しはじめ、20分したら①の上②をのせ、途中蒸し具合をつまんで確かめながら、蒸わて蒸していき

直径20センチ厚さ10センチのザルに敷きお好み焼きの粉をせいらに平たく真ん中まわし回りを全周しなべて蒸す

50リットル
90-250

・もち直前まで水につけておく
 ・きんこ、水漬、白あじ、粉場をばらばら

以上

DAGS

感謝

DAGSコーチ 三沢 洋

卒業する皆さん、色々な思いと共にこれからの高校生活を楽しんでください。小学校からラグビーを続けた事は必ず皆さんの力になるはずです。そして DAGS コーチとしていつか皆さんの後輩にラグビーの楽しさを伝えてあげてください。ありがとうございました。

卒業を迎えるにあたり

DAGS3年 室井 虹翔

自分は、小学2年生から麻生ラグビースクールにお世話になり、中学でも DAGS に3年間お世話になりました。

卒業にあたりまして、三浦校長、小坂コーチはじめコーチの皆様には、大変お世話になりました。大変感謝しております。また、保護者の皆様、支えて頂きありがとうございました。

小学2年生から中学3年生まで麻生ラグビースクール、DAGSでラグビーをしていて、ラグビーの技術の指導はもちろんですが、その他にも、挨拶や感謝の大切さ、礼儀や仲間への優しさや思いやりなどたくさんのお話を教えて頂きました。心を育ててもらいました。人として成長できる場が麻生ラグビースクールだと思います。

ラグビーを通じてたくさんの友達が出来ました。麻生ラグビースクール、DAGS の練習は凄く大変でした。自分は麻生ラグビースクール・DAGS での練習は、楽しかったけど…キツく、辛かったです。その練習を乗り切った事での達成感そして忍耐力がついたと思います。この練習を乗り越えることができた忍耐力は、これから先もどんなに辛いことにぶつかっても大丈夫だと思います。

最後に、同じ麻生ラグビースクールでプレーしていた仲間です。今、ラグビーを続けている友達も辞めてしまった友達もいます。ですが、同じグラウンドでプレーしていた仲間は、今もこれからもずっと仲間です。辛い練習を一緒に乗り越えたからこそ心で繋がっているんだと思います。ラグビーを通じ同じグラウンドでプレーした仲間は、自分にとって麻生ラグビースクールから頂いた財産だと思います。

自分はラグビーというスポーツをやってきて良かったと思います。

ありがとうございました。

卒業

DAGS3年 曾我 鷹平

僕は DAGS の練習にはほとんど参加できませんでしたが、麻生ラグビースクールと DAGS の練習を通じて、多くの事を学び、学校のラグビー部での活動にも活かすことができました。テクニカルなことを、部活でも応用できたことはもちろんのこと、ちょっとしたセンスや勘のようなことなど、スクールでなければ身につけられなかったと思うこともあります。中一の時の合宿でも、規律正しい生活や上下関係、厳しい練習で鍛えられました。中でも強烈だったのは、「勝利を追い求める姿勢」です。DAGS では、チームの一人一人が事あるごとに試合に勝ちたいと言い、プレイにもその思いがにじみ出ていて、闘志を持つことの大切さ、かっこよさを、理屈抜きで教えてもらったと思います。そして、僕が得た何より大切なものは、麻生からの友人です。彼らは皆優しく有能な人ばかりです。

高校に行っても DAGS で学んだことを活かして活躍したいと思います。

コーチの皆さん、仲間、ありがとうございました。

卒業

DAGS3年 梅津 誉

今、思うと DAGS で過ごした時間はとても短かったように思います。これまでラグビーをしてきて、つらいと思う時は何度もありました。しかし、中学3年生までラグビーを続けてこれたのは仲間に支えてもらったことや、ラグビーの楽しさを見つけることができたからだと思います。僕は、ラグビーを通して肉体的にも精神的にも成長でき、とても良い経験になったと思っています。また、これまで自分を指導して下さったコーチのおかげで、ラグビーの楽しさを知ることができたのだと思います。本当にありがとうございました。これからの人生は今より大変でつらいことがたくさんあると思います。そのような時でもラグビーで学んだ経験を活かしてあきらめずに努力し、乗り越えていきます。

ありがとうございました。

3年生へ

DAGS2年 梅津 暁

3年生の皆さま、今まで僕たちを引っ張ってくれてありがとうございました。皆さんの卒業後は、今の2年生である僕たちがDAGSを引っ張っていき県大会で優勝を目指して頑張っていきます。これからも頑張ってください。

ありがとうございました。

3年生 卒業おめでとうございます

DAGS2年 白川 幹斗

3年生は、僕たち2年生の声が出ていない時、テンションが低い時に、声を出したり盛り上げてくれた事が、僕の中で1番心に残っています。2年間という短い間でしたが、お世話になりました。これからは、僕たちが1年生と2年生を引っばれるように頑張っていきたいです。3年生、高校に行っても頑張って下さい!

3年生へ

DAGS1年 萩原 睦

DAGSに入ってから、ずっと目標にしていました。パスやタックルが正確で、スピードやパワーがある3年生はすごいと思っていました。いつもみんなを集めていてすごいと思っていました。高校に行ってもがんばってください。

ありがとうございました。

ありがとうございました

DAGS1年 菅原 健人

卒業生の皆さん、3年間お疲れさまでした。僕たち1年生は、3年生を超えることが出来るように練習を頑張ります。そして、DAGSのみんなで全国大会へ行きたいです。

1年間でしたが、本当にありがとうございました。

3年生へ

DAGS1年 宮澤 朋輝

3年生、1年間ありがとうございました。3年生からいろいろなことを学びました。ありがとうございました。これからも頑張ってください。

卒業にあたって感謝の言葉

DAGS3年 室井虹翔の母

今日この卒業という日を迎える事が出来た事に深く感謝いたします。

小学校2年生の春、泣きながら王禅寺小学校の校庭に連れて行き、入校するか迷ったあの時、ついこの前のように思いますが、あれから7年の月日が経ちました。「虹、行け〜!」「虹、行け!」「虹、走れ〜」「自分に負けるなあ」「虹頑張れ〜」本当に大勢のコーチの皆様に声をかけて頂きました。ラグビーという素晴らしいスポーツに出会わせて下さったコーチの皆様のおかげで、高校に進学してもラグビーを続けていきたいと思うほど、ラグビーが大好きに成長しました。そしてこの7年間、親子共々本当にたくさんのことを学ばせて頂き、思い出が出来ました。これから先、社会人になってもこのラグビーで得た経験を生かして成長していってくれることを願っています。

7年間、三浦校長をはじめご指導して下さったコーチの皆様、ご父兄の皆様、また一緒に過ごしてくれた大切な仲間たちに心から感謝いたします。本当に有難う御座いました。

6年生



「とも(共&友)に生きよう」

6年チーフコーチ 曾我 浩

6年生のみなさん。卒業おめでとう。ファイナルカップは、カップ戦トーナメントベスト4という素晴らしい成績でした。

クジ運に恵まれたところもあるかもしれないけど、その運を引き寄せたのは、今まで努力してきたみんなに、最後に、ごほうびがもらえたと思います。

「努力は運を支配する。」

元日本代表監督の宿澤さんがのこした言葉を皆さんに送りたいと思います。

6年生になってからの1年間の目標は、「一生懸命やること」と「仲間を大切にすること」でした。

いくら一生懸命やっても、自分勝手に振舞っていたら、仲間はついてきてくれないし、目標を持たずに、好きなことだけ楽しくやっていただけでは、そのうち飽きてつまらなくなってきたと思います。

これから、中学に入ったら、部活で先輩後輩の関係になるし、高校に進学して社会人になっても、「スキルアップ(自分を磨くこと)」と「チームワーク(仲間を大切にすること)」は、とても大切なことだと思います。

これからも、いろいろな経験をしようと思うけど、時には、今までにない、つらいことを経験するかもしれません。

そんな時には、麻生RSで、「一生懸命、仲間とたたかった自分」を思い出してください。

曾我コーチがみんなから、教わったことは、「他人の子供を好きになること」です。

いままで、一緒にみんなとラグビーができて楽しかったです。ありがとう。いつでもグラウンドに遊びに来ててください。

「ラグビーから学んだのは、制圧することではなく、人と共に生きることだ。」

ジャン・ピエール・リブの名言です。これからも皆さんの活躍を応援します。

ご父兄のみなさま。

子供たちが練習できるのは、コーチの指導だけでなく、それを支えていただいた皆さんのおかげです。

私は DAGS に行きますので、これからもよろしくお願いします。

3年後、花園の応援に一緒に行きましょう。

「6年生 ファイナル・カップを終え、卒業にあたり」

6年コーチ 外岡 幸隆

小学生最後の公式戦神奈川ミニラグビー ファイナル・カップでは、初日YCACグランドで行われたブロック戦を2勝(茅ヶ崎・多摩)で1位通過し、2日目のカップ・トーナメント(保土ヶ谷)に進むことができました。準決勝:横須賀RS戦、3位決定戦 横浜RS戦では、秋の県大会においては大差で敗れたこの2強豪相手に、2試合とも同じトライ数:2本—6本で敗れたものの、この6年チームらしい快速BK陣を走らせるトライを奪い、神奈川県4位に相応しい実力を示せたと思います。何よりも最終試合終了後の力を出し切った皆の「笑顔」が最高でした！

いよいよ麻生RS小学部の卒業(終了)です。違う学校に通う仲間達と麻生RSに集い、練習・合宿など厳しい練習、敗戦・・・を乗り越え、そしてファイナル・カップ最終戦の「笑顔」につながりました。子供達は、なかなか他では得られない経験をしたと思います。これからもラグビーを続ける子、他のスポーツを始める子、大人になるまで(大人になっても)、様々な「カベ」にぶつかると思います。その時、麻生RSでの経験を思い出してください。必ず「カベ」は乗り越えられると思います。

いい経験をしたのはコーチも同じです。自分は、現在、高3の代(6年上)のコーチを務め、6年まで大敗を喫してきた相模原RSに最終戦で勝ち、子供も親もコーチも泣きました。今のこの学年にも同じ経験をさせたいと思い、厳しい？練習を課してきたつもりです。ところがこの学年の最終戦(横浜RS)は、子供達は練習中から笑みがこぼれ、試合中もトライを取られても、麻生のトライを返そうと笑いながら話し合っ、最後は、全力でトライを2本取り返し、笑顔で終わりました。6年前は、「勝って、泣いて」終わりましたが、今回は「負けても、笑顔」で終わることができました。その学年にはその学年に相応しい「終わり型」があるということを経験で学ばせてもらったような気がします。

ラグビーを通して得られるもの:何ととっても一番は「友達」です。この数年間、一緒に厳しい練習を乗り越え、試合を共に戦った「友達」は一生の「宝物」です。これから徐々にバラバラになり、別々の道を歩みだすこととなりますが、たまには集まって麻生RSに顔を見せにきてください。きっと「友達」から「力」をもらえんと思います。コーチを見かけたら声をかけてネ。皆が高校卒業する頃になったら、外岡も赤いラグパンになっているかも？

「中学生になったら・・・」

6年生コーチ 菅原 司

6年生諸君、

卒業おめでとう。

少人数、しかも受験生が半数。

最終学年は最後まで全員が練習に揃うことがなく、チームとしてはなかなか一つになりきれなかったけれど、ファイナルカップではみんなの気持ちを少しだけ見せてもらうことができました。

受験をしないで麻生ラグビーを続けたみんな、・・・少ない人数で練習を良く頑張った。

受験生のみんな、・・・勉強お疲れ様。受験の緊張を良く受け止めた。

新中学一年生の諸君、

中学生になったら、今よりもう少しか自分のために頑張ろう。

1. 好きと言えるスポーツを見つけよう。

(ラグビーじゃなくても良いから、好きと言えるスポーツを見つけよう)

2. ご飯を沢山食べよう。

(身長も体重も伸びる時期。好き嫌いせずに沢山食べよう)

3. 勉強もちょっとだけ頑張ろう。

(特に受験しなかったみんなは、勉強も頑張ろう)

これからの、みんなの未来が楽しみです。

ご父兄の皆様、
長い間、ご声援ありがとうございました。

小学校6年生卒業に際して

6年コーチ 宮内 伸也

6年生諸君、小学校卒業おめでとうございます。
試合や練習で大きな怪我もなく、小学校卒業出来る事を喜ばしく思います

ふるさと公園で虫取りに明け暮れていた幼い君達が、毎年の菅平合宿を経るにつれて、
着実に少年に成長して行く姿をまじかで見ることが出来ました。
私の娘と同じ学年の君達の成長は、正に我が子の成長と重なって特別な感慨を覚えます。
これからも折に触れ成長した姿を見せて下さい。

中学生になると小学生とは違う種類の苦しい事、つらい事があることでしょう。
そんな時は、仲間と助け合い乗り越えたあの菅平合宿を思い出してください。
大概の事は乗り越えられるはずで。
それでも乗り越えられそうにない時は、コーチに声をかけてください。
例えどんな場所であろうと、駆けつけますから。
私たちは麻生で共にラグビーをした仲間ですから。

「6年生の皆様」

6年コーチ 上田 博朗

6年生のみなさん。ご卒業おめでとうございます。みんなとの付き合いは4年生からの3年間でしたね。
初めてコーチとして担当させてもらった学年なのでとても思い入れが強かったです。この3年間はあつとい
う間でしたが、みんなと楽しく練習できたし、たくさんいい試合を見せてもらいました。中でも6年生で迎
えた菅平でのサニアでの試合は私の中のベストゲームでした。ディフェンスで前に出てボールを奪い、展
開ラグビーでトライを取る。また、みんなで繋いでトライを取る。みんなが成長してくれたことを最も実感で
きた試合でした。

また、最後のファイナルカップでも「ベスト4進出」と結果を出して終わることができましたね。最後の横浜
戦も負けはしたものの最後までくわいて戦ってくれました。

しかし、これからの長い人生。ラグビーにおいても勉強においてもその他何においても「結果」よりもそ
こにたどり着くまでの「過程」を大事にしてください。これからいろいろなことでうまくいっている時も慢心せ
ず、うまくいかないときも逃げ出さず。常に自分に今自分のベストで取り組んでいるか自問自答してくださ
い。物事への取り組みは常に110%で挑戦できる人になってください。

最後に、まだしばらくの間は日曜の稲城グラウンドにいるつもりなので、たまには遊びに来て元気な姿を
を見せてください。

ありがとうございました

6年 キャプテン 齋藤 裕人

僕は年長のときから、麻生ラグビースクールでラグビーを習っています。

この7年間で麻生ラグビースクールでの思い出がたくさんできました。

初めての夏合宿で菅平賞をもらったことは本当にうれしかったです。最後の夏合宿では具合が悪くなっ
たりして大変だったけど、最終日のランパスは本当に楽しかったです。ファイナルカップではカップ戦に進
めたこともうれしかったです。

これから僕は DAGS に入って頑張っていきたいと思います。そしてもっとラグビーを上手になりたいと思
います。

いままでありがとうございました

6年 バイスキャプテン 森田 恵一郎

ぼくは1年生からラグビーを始めました。はじめのうちは一人でトップパできることも多く、皆ほとんど一人
で突っ込んでトライを決めていました。しかし、高学年になるにつれてルールも厳しくなり一人ではトップパ

きなくなりました。

三浦校長は昨年の6年生に「一人でやるな。みんなでやれ。」と言っていました。今年もやはり「オレがオレがでやるな。」と言っていました。歳を重ねるうちにチームプレーがうまいチームが強くなり、個人プレーが多いチームは勝てなくなりました。どんなスポーツでも強いチームになるためには、チームプレーが重要だと思います。また、良いチームプレーをするにはコーチの方々が言うように声を出すことが重要だと思います。どんなスポーツをやるにしてもこの2つのことを忘れずにこれからも頑張りたいです。

いままでお世話になったコーチの方々やお母さん方、どうもありがとうございました。

麻生ラグビースクールライフ

6年 古田 空

僕はこの6年間で印象に残っていることが2つあります。

1つ目は、何とんでも、夏合宿です。なぜなら、夏合宿の試合で負けている状態から逆転することができたからです。その試合から僕はあきらめなければ勝つ可能性があることを学びました。また、最後のランパスも印象に残っています。なぜなら、僕が辛くなった時にみんなが「頑張れ！」って言ってくれたからです。その時に、仲間がいかにかいものかを学びました。

2つ目は、ファイナルカップの最終戦です。なぜなら、県大会で完敗した横浜と戦ったからです。結果は負けてしまいましたが、内容的には僕は良かったと思ったからです。

この6年間は、本当に色々なことを学んだ6年でした。

この麻生ラグビースクールライフで学んだことは、中学生になっても、社会に出ても、忘れずに生活していきたいです。

麻生ラグビースクールの思い出

6年 野村 和幸

僕は、六年生になってから、スクールに入りましたが、入る前はラグビーについて何も知らなかったし、スポーツの習い事をした事も無かったので少し心配でした。

何より、ラグビーは、「痛い」というイメージが強かったです。

でも、ラグビーは、すごく面白かったです。皆も僕にもやさしく接してくれました。

練習当初は、体力が無い僕にはとても過酷でした。スクールに入った時はまだ暑くて、体調が悪くなったりにして、途中でやめなくなった事も何度かありました。

でも、初めて他のチームと試合をした時、トライをする事が出来て、すごくうれしくて、やっぱり続けたいと思いました。

ルールも複雑で大変でしたが、少しずつ覚えていくことができました。

県大会では、まだ入って間も無いのに、試合に出してもらいました。活躍する事はできなかったけれど、とても良い経験になりました。

ファイナルカップでも、トライを取れなかったけど、四位という結果で良い大会でした。

僕は、もう少し早くスクールに入ってラグビーをしたかったと思いました。

もう、卒業するのが、すごくさびしいです。

でも、ラグビーはこれからも続けていきます。

5年間ラグビーを続けて

6年 小島 稜

僕は、2年生の時に麻生ラグビースクールに入りました。最初は、ラグビーに進んで行けませんでした。が、続けていくうちにだんだん進んで行けるようになり、楽しくできるようになりました。

けれど、楽しい事ばかりではありませんでした。県大会でうまくいかない事があり、その時はくやしかったです。

そして、6年生になり、最後の県大会のために練習しました。けれど受験勉強のため、出場する事ができませんでした。

残っているのは、最後の県の公式試合のファイナルカップでした。県大会に出れなかった分、練習を頑張りました。

やがて、ファイナルカップを迎え、4試合にでました。2勝できて、みんなとラグビーが楽しめてよかった

です。

中学に入っても、ラグビーを続けて行きたいと思います。

麻生ラグビースクールで学んだこと

6年 山崎 太凱

ぼくはこのラグビースクールには2年と少ししかいませんでした。

でも、このラグビースクールで学んだことはたくさんあります。

例えば、絶対最後まであきらめない執着心などです。

ぼくは中学でDAGSには入らないけど、このラグビースクールで学んだことを今後の生活やスポーツなどで活かしていきたいです。

今までありがとうございました。

卒業にあたって

6年 小野 航大

6年間、三浦校長、コーチの皆様、ほんとうにありがとうございました。

三浦校長に、1年生の頃打ち上げの場でつばをはきかけました。あの時は本当に申し訳ありませんでした。

ラグビーを始めて団体競技のむずかしさを感じます。1人がどんなに早く走っても、1人がどんなに頑張ってもタックルにいても、個人の力だけでは勝てないことを学びました。

県大会のくやしい気持ちのまま、納得のいかないままファイナルカップで

戦いたくなかった。でも曾我コーチの家で久しぶりに全員がそろい、カレーを食べて

みんなとラグビーについて話し合った。だからファイナルカップでは一致団結して

戦うことができた。カップ戦は勝つことはできなかったけれど自分はやりきることができたと思う。

6年間の経験を生かして中学校でもがんばっていきたいです。

卒業

6年 齊藤 岳

僕は、2年の夏休み前からラグビーを始めました。最初はわけが分からなかったけど今ではわかるようになりました。6年まではフォワードだったけど、途中からはバックスになりました。フォワードもよかったけど、バックスになったら声やタックルなどができるようになりました。なのでバックスになってよかったと思いました。

コーチ、チームのみんな長い間ありがとうございました。

6年間ありがとうございました

6年 熊谷 優

三浦校長、コーチのみなさん 6年間ありがとうございました。

最後の県大会は、1勝3敗でしたが、ファイナルカップでは4位になれることができてうれしかったです。

全試合に出場できたものの、途中、受験勉強で練習に行けない日もあり、力を全部出し切れた気がしませんでした。

ファイナルカップで思ったことは、いろいろありました。

一日目に2連勝してカップ戦に出場することができたことは、とてもうれしかったです。

二日目の相手は、とても強いチームばかりで、一度も勝てませんでしたが、

コーチからは、楽しくやろうと言われ、試合でも楽しむことを意識したら、負けてもすがすがしい気持ちになれました。

でもまだ、やり残したことがたくさんあります。やるべきことができず、負けてしまったと思っています。

やり残したことはDAGSで精一杯やり遂げて、今度は、悔いのないラグビーをしたいです。

中学ではがんばります。

麻生ラグビースクールを通じて学んだこと

6年 津国 大喬

僕が今までラグビーをやって学んだことは、チームワークと仲間を信頼する事などたくさんあります。

特にチームワークと信頼は大切だと思います。なぜなら、ラグビーは自分一人では成り立たない競技であるし、仲間を信頼するからこそパスを回したり、全力で走ったりすることができるからです。また、仲間と目標を一つにしてプレーする事の大切さも学びました。チームワークと信頼はラグビーだけにかぎらず中学生活に入ってから生かすことの出来るものと思います。授業中・部活動など仲間と信頼しあって議論を深めることを行ったり、仲間と一つになってプレーをする事などできるからです。

これからの生活では、新たな仲間が待っています。今までラグビーを通じて身に付けてきた、チームワークと信頼を胸に、目標を持ち、多くの仲間を作ることができるよう積極的にコミュニケーションをとって行っていきます。

麻生ラグビースクールの皆さん、小学3年生からの4年間、大変お世話になり、ありがとうございました。

息子の卒業にあたって

6年 野村 和幸の母 野村 エミ

いろんな事に思い悩んでいた六年生の初夏、友人の紹介で出会ったのが、「麻生ラグビースクール」でした。

先に、一目惚れしたのは、母の私でしたが、和幸もコーチやチームメイトの優しさや、思いに触れていく中で、「麻生ラグビースクール」そして「ラグビー」を少しずつ好きになってくれたように思います。

何度も「もっと早く入っていれば・・・。」と思いましたが、ラグビーを通して和幸と一緒に過ごせたこの半年間は、私の一生の宝物になりました。

また、和幸の成長していく姿を少しずつですが、感じとることができた事も嬉しかったです。

卒業してもラグビーを続けたいと思ってくれる和幸を、これからも応援していきたいと思います。

短い間でしたが、一生懸命指導してくださったコーチの皆様、あたたかく迎えてくれたチームメイトと保護者の皆様に、深く感謝しています。

本当にありがとうございました。

稜の成長に感謝して

6年 小島 稜の父 小島 豊隆

何かでたまたま麻生RS部員募集の掲示を見かけて、稜にやらせてみたらどうかと思い立ち、体験参加をお願いしたのは小学2年生の時。思いの外に本格的な練習で、いつまで続くかと見守っていましたが、悪天候も厭わず、厳しい合宿にも音を上げることなく、尤も練習以外で個人練習するまでの熱心さはありませんでしたが、楽しいから、好きだから、行くのだという様子で、結局6年生まで続けることになりました。

稜のラグビーを好きは、どうやら本物だったらしく、中学進学先を考える際にも、部活でラグビーができる所、(自分のようなものでも)試合に出してもらえそうなところ、が基準で、それにむけて多少なりとも努力したようです。

今では、中学でラグビー部に入ることに毎日楽しみにしていますし、先日の試合では、今まで見たことの無いような真剣な表情で臨んでいたのを見て驚きました。

振り返ってみると、麻生RSが心身ともに稜の成長に与えた影響は非常に大きかったと改めて感じる次第です。これは言うまでもなく麻生RSの校長先生はじめコーチの皆様のご指導、環境作り、また良い仲間、そしてそれらをサポートして下さったご父母の方々のおかげです。

特に、コーチの皆様のお人柄に裏打ちされた包容力のある熱心なご指導によって、稜をラグビー好きにし、またラグビーを通じて大きく成長させていただいたことは心から感謝しております。

稜の中学へ行ってからのラグビー生活については、度々報告させたいと思いますし、また、これまでチームを組んだ仲間とは、これからも連帯感を持ち続けていって欲しいと思いますのでよろしくお願いします。

たいへんありがとうございました。

7年間本当にありがとうございました。

ラグビーを通じて

6年 山崎 太凱の父 山崎 裕二

私自身が好きでしたが、プレーしたことのなかったラグビーを子供にやらせてみたかったのが始まりで、めぐりあわせもあって太凱をこのスクールに入れて頂きました。太凱はひとまずラグビーから卒業するようですが、ラグビーを通じて「仲間を大切に作る気持ち」「自分の気持ちの伝え方」「最後まであきらめない強い気持ち」を学ばせてもらったのではないかと思います。

また、コーチの皆様、ご父兄の皆様もアットホームで、グラウンドの外でも、とても楽しい時間を過ごさせて頂きました。

私は(太凱も?)まだラグビーに未練があるので、自分でもプレーしてみたいななんて思っています。身体がついてくればですが...

機会ありましたら、よろしくお願いします。本当にありがとうございました。

卒業にあたって

6年 小野 航大の母 小野 桂子

麻生ラグビースクールに池澤友弥君の紹介で遊びに来た日に、私たちは航大をここに預けようと決めていました。

本人は無理やりだったと思いますが、6年たった今、麻生ラグビースクールを卒業できる事を、大変うれしく思っています。

入りたての頃、すぐにすねて練習を離脱。グラウンドの外で宮内コーチに沢山のお話をさせていただきました。航大の心に寄り添って、練習時間の半分かくらいをグラウンドの外で付き合ってくださいました。感謝の気持ちでいっぱいです。

夏合宿では、バス酔いとホームシックで、たくさんたくさんご迷惑をおかけしてしまいました。

でも皆様の支えもあり、少しずつ成長してきました。6年の県大会、ファイナルカップ航大は本当に頑張ってくれたと思います。

自分でやりたいラグビーを一生懸命実現しようと、努力していました。

航大の頑張りを引き出してくださった三浦校長はじめ、6年コーチの皆様、本当にありがとうございました。

6年間、航大と毎週グラウンドに通い続けられたこと、私にとってもとても貴重で楽しい時間でした。

これから先、どんな道を行っていくかわかりませんが、麻生ラグビースクールで学んだこと、航大の人生にプラスに働いてくれると確信しています。

6年間、本当にありがとうございました。

あつと言う間の6年間

6年 森田 恵一朗の母 森田 康恵

3か月の体験期間を経てスクールに入校したのが1年生の7月のこと。本当に気長に待っていただいたと思います。他学年に比べると人数が少なく、なかなか人数も増えませんでした。その分、それぞれの個性を尊重した仲の良い学年だったと思います。いつも練習相手がコーチチームで、同学年の子供同士で実戦形式の練習をさせてあげられなかったことが悔やまれますが、それでもこの少ない人数でよくファイナルカップまで戦い抜いたと思います。

中学生になっても、それぞれの近況を伝え合える仲間であって欲しいと思います。

親としては6年間、片道40分ほどの送迎を良くできたと思いますが、稲城のグラウンドでお母さん方とおしゃべりをしながら子供たちの練習を眺めることは貴重な楽しい時間でもありました。そんな時間を与えていただき、ありがとうございました。

卒業おめでとう

5年チーフコーチ 山本 慎一

卒業おめでとうございます。キャプテンを中心によくチームがまとまり、ファイナルカップでは見事4位になりました。日頃の努力が最後に身を結び、素晴らしい試合を見せてくれました。みんなが楽しそうに笑顔でプレーしていたことがとても印象に残っています。つらくて苦しいこともたくさんあったと思いますが、最後に笑顔で終えたことは最高ですね！我々5年生に対しても、いろいろ面倒を見てくれてありがとう！みんなから教わったことを守り、最後は我々も笑顔で終わるように頑張りたいと思っています。中学生になっても、麻生で学んだことを忘れずに頑張ってください。

ご父母の皆様 ご卒業おめでとうございます。
間近で見ていた学年として、日々成長していく6年生が頼もしかったです。
これからのご活躍を期待しております。

小学部卒業する6年生へ

5年サブチーフコーチ 清水賢一

麻生RSの小学部を卒業する6年生の皆さんはどんな気持ちで卒業していくのでしょうか私から見た6年生の印象は、最近5年生と練習する機会が多くなりましたので一番印象に思うのは、一人一人が心が強く集中する所は集中していて、たかが一年違うだけでこんなにも違うのかという印象が強いです。その強い心を中学生になってもラグビーを続ける、続けないは別にしても継続して下さい。5年生も一年後は6年生を少しでも超えている一年になる事を期待しています。そんな5年生を陰ながら応援してやって下さい。卒業おめでとうございます。

6年生の卒業にあたって

5年サブコーチ兼副校長兼6年古田 空の父 古田 十

6年生の諸君、卒業おめでとう。
いろいろな事情はあるでしょうが、麻生に入ってくれた子供たちには最低限、小学校の6年まで続けて欲しいと思っています。
なぜなら、途中でやめてしまったら、仲間たちと「本当の」友達になれないからです。
私の高校時代の経験ですが、最後までやった仲間とはラグビーの上手い、下手に関わらず今でも付き合いがありますが、途中でやめてしまった仲間とは卒業後、一度も会う機会がありません。
みんなは少ない人数だったからこそ、全員の絆も深まったことと思います。
ぜひ、麻生で培ったことを中学校、高校、大学、社会人になって生かして行ってください。
曾我コーチはじめ、コーチの皆様、いろいろありましたがお疲れ様でした。ありがとうございました。引き続きよろしく願います。

今年目標

5年 阿部 凌大

僕は、今年6年生という麻生ラグビースクールの最高学年なので責任をしっかり持とうと思います。
練習でもメリハリをつけて行動をしたいです。
試合でも特にメリハリをつけて早く準備できるようにしたいです。
FWなのでタックルをがんばって早くオーバーに行きバックスにボールを回してチームプレーでトライをして勝ちたいです。
自分でいける時はトライしたいです。

麻生での5年間を振り返って

5年 安藤 雄也

ぼくは、5年間ずっとフォワードをやってきました。ラグビーを始めたころは、あたるのが恐くて、あまり自分からあたることはありませんでした。フォワードをやっているうちに、だんだん相手にあたるのが恐くなくなり、今では相手をたおすのが楽しくなってきました。大きい相手をたおしたときは、すごく気持ちよくなりました。

2年前の合宿で菅平賞をもらうことができました。その要因はタックルやボールを多くさわられたこと、敵をたおしたからだと思います。

5年のときチームキャプテンになり、チームのために声を出したり、チームメイトのことをみるのがとても大切だと感じました。それ以来大きな声を出してチームを盛り上げることをしています。

6年生では、下級生のお手本になる練習や行動ができるようがんばりたいと思います。

5年生で頑張ったこと

5年 飯島 亮太

5年生は、初めての経験が沢山ありました。初めてのプレースキック、ハーフ、夏合宿の副班長。どれも、みんなの期待を背負ってやったので、責任というもの実感しました。

1月になって、僕は副キャプテンに任命されました。任命された時は、頭の中が真っ白で、どうすればいいのかよくわからなかったけれど、こうやって、振り返ることで、改めて、キャプテンの重要性に気が付きました。あと2週間しかチャンスはないけど、もっと引っ張っていきたいです。

麻生ラグビースクールでの5年間

5年 上田 武蔵

ぼくはこの5年間で、どんどんラグビーが楽しくなってきました。幼稚園、1年生の時はタックルがこわくてなかなか前に進めませんでした。

2年生の時、初めてタックルで相手を倒して、うれしかったことを覚えています。3年生の時、センターだった僕が、初めてハーフになりました。

コーチから熱心に指導を受けたおかげで、夏合宿の時、ぼくのタックルは最高潮でした。しかし攻撃が出来ていなかったため、ステップの練習をした4年生では、タックルが絶不調となってしまいました。

5年生はウイングのポジションになりました。初めてハーフというポジションを外から見ることができ、どう動けばフォワードやバックスが動きやすいのかがわかりました。

6年生はまたハーフになったので、5年生の時のことを生かして、がんばりたいです。

最後になりましたが、6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。練習相手になってくれて、ありがとうございました。

みなさんとの練習を生かして、県大会は優勝を目指してがんばります。

6年では3つ完ぺきに出来るようになります

5年 千秋 武尊

1. アタックで相手に当たる瞬間、今まではぶち当たっていたけどステップで抜く。
2. ディフェンスの時、早い段階でタックル出来るよう予測してプレーする。
3. ディフェンスの時、ジャッカルで相手ボールを奪い返す。

麻生RSを卒業する先輩たちへ

5年 角田 翔

努力は必ず花となる。

明日へつなぐもの

5年 野田 怜佑

6年生、ご卒業おめでとうございます。

5年間いろいろなことを教えていただき、ありがとうございました。6年生が教えてくださったことを明日につなげていきます。

新年度はぼくたち新6年生が麻生ラグビースクールを引っ張れるように努力して行きます。

麻生でやってきたことを振り返って

5年 原田 健匠

僕が麻生ですっとラグビーに取り組んできて、一番の転機は3年生の頃です。

その当時はずっとフォワードをやっていたけれど、スクラムハーフに変わったからです。その後、ずっとやってきて、自分が一番できるポジションだと思いました。

二番目は今年度です。今年は更にウイングに変わったからです。これまではずっとラックの近くに行っていました。今はラックから少し離れたところで準備をして待つことが多くなったので、慣れるのが大変でしたが何とか乗り切る事ができたと思います。

これからも残りの時間を大切にやって行きたいと思います。

6年生のみなさんへ

5年 日笠 壮太

6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

6年生のみなさんは、オーバーが下から上に低く入るし、タックルも低くて、ぼくがトライを取りに行ってもすぐにボールを取られました。

また、足が速いしパスも速いからすぐスペースに入られて、タックルできずトライを取られて、すごいなと思いました。

ぼくが助っ人として6年生の試合に出させてもらったときに、どこつけばいいのか迷っているとどうすればいいかやさしく教えてくれてありがとうございました。

中学生になっても、麻生ラグビースクールでの経験を活かしてがんばってください。

7年間で振り返って

5年 本田 昂大

7年間の年月を今、考えるとすごく長くやってきたと思いました。

小学生最後のラグビーなので、県大会の優勝を目指したいです。

これから、最高学年になるので、練習もハードになるけれど最後の一年なので、気を引き締めていきたいです。

6年で頑張りたいこと

5年 萬場 康生

ぼくは、5年生でタックルが上手くなったけど、前に出て止められなかったのでそこを頑張りたいです。

5年生の県大会みたいに最後まで諦めないで県大会もファイナルも位になりたいです。

信頼できるチームメイト

5年 宮坂 瑛人

僕はこの一年間で大きく変化したことが、三つあります。

一つ目は、オーバーのポイントへ少しでも早く行き、相手を倒そうと強く思うようになったことです。

昔は、仲間がいるから。と、思っていました。でも、それは間違いだったと気がきました。

今は、積極的に倒しに行きたいと思っています。

二つ目は、仲間を今まで以上に信頼できるようになったことです。

たまに、ボールを持った時は、一人で突っ込んで行って、相手に取られて終わりでした。最近では、仲間を信頼してパスを出せるようになりました。

三つ目は、チームメイトとの絆が深まったことです。

今までは、個人プレイのトライが目立ったけど、最近は皆で協力してとるトライが増えました。
最後の一年しっかり練習して、県大会で優勝したいです！！

6年生に向けて

5年 山内 太郎

僕は五年生の時に田園の試合で、最後、相手にタックルが届かなくて悔しい思いをしました。
6年生になったら同じ悔しさを残さないよう低いタックルが相手に入るよう練習を頑張りたいです。
それから100%以上、200%の力を出せるように、強い気持ちで声を出して頑張りたいです。

麻生ラグビースクールでの7年間を振り返って

5年 横尾 瑛

この7年間、ほとんど休まず毎週日曜日練習してきました。
今年最後の1年になるので全ての力を出しきって悔いのない1年にしたいと思います。
そして今年こそ、県大会は全勝優勝したいです。

5年生をふりかえって

5年 吉田 隼輔

ぼくは、今年初めてキャプテンをしました。その中でも、ぼくの反省と良かった点があります。
まず、反省点は、試合の時に、声をかけられず、試合を終えてしまったということです。
良い点は、みんなに声をかけ、進んで、ボールをもらえたという事です。だから、この反省点をなくし、良い点をもっと良くして、6年生を頑張りたいです。

第4回神奈川県ミニラグビーファイナルカップ 組合せ及び試合結果

大会開催日 : 2014年3月1日(土)、2日(日) 2日間
 大会会場 : 1日目:YC&ACグラウンド
 2日目:保土ヶ谷公園ラグビー場

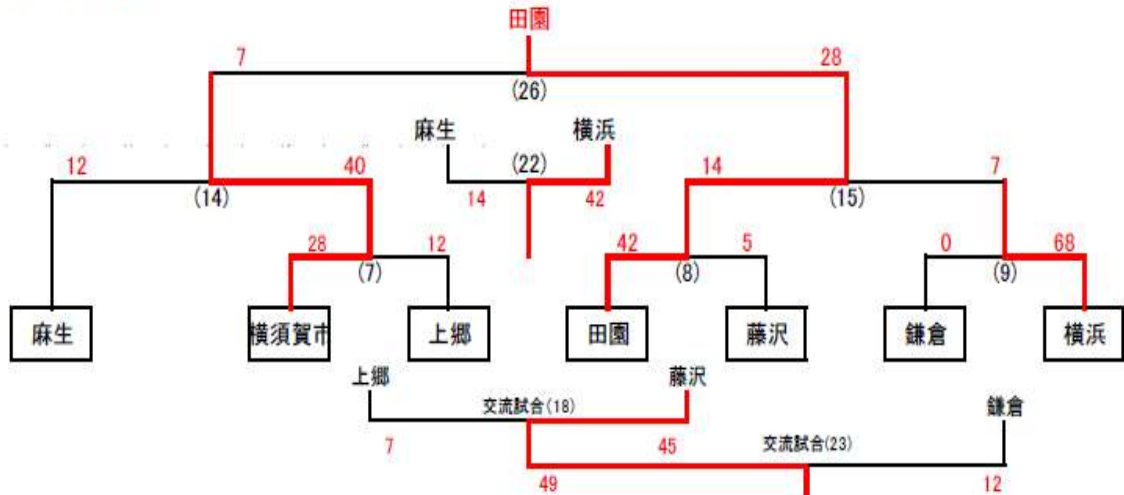
Gグループ

	麻生	茅ヶ崎	多摩	
麻生	-	45○14	38○0	1
茅ヶ崎	14●45	-	19△19	2
多摩	0●38	19△19	-	3

【第2日目】

決勝トーナメント ※(1)～(26)の数字は「大会スケジュール第2日目の試合番号」

■カップ戦トーナメント■



川崎RS交流大会

月日: 2月2日(日)

場所: 日大稲城G

[幼稚園]

両チーム合同による交流戦

[3年生]

麻生 ●30-40○ 川崎

[1年生]

麻生 ●20-25○ 川崎

麻生 ●5-15○ 川崎

[4年生]

麻生 ○70- 5● 川崎

[5年生]

麻生 ○40- 10● 川崎

[2年生]

麻生 ○65- 0● 川崎

麻生 ○45- 15● 川崎

[6年生]

麻生 ●10-30○ 川崎

麻生RS創立35周年 招待試合

グリーン・YCRS 交流大会

月日：3月23日(日)

場所：日大稲城G

[3年生]

麻生A △40-40△ グリーンA

麻生B ○45-40● グリーンB

[幼稚園 年少・年中]

麻生 ●25-55○ グリーン

麻生 ●15-45○ グリーン

[4年生]

麻生A ●15-50○ グリーンA

麻生B ●15-25○ グリーンB

[幼稚園 年長]

麻生 ○55-15● グリーン

麻生 ○65-15● グリーン

[5年生]

麻生A ○45-15● グリーン

麻生B ○35-10● グリーン

[1年生]

麻生 ●25-30○ グリーンA

麻生 ●20-35○ グリーンB

[6年生]

麻生 ●20-30○ グリーン・YC

麻生 ○20-15● グリーン・YC

[2年生]

麻生A ○50-20● グリーンA

麻生B ●15-40○ グリーンB

[コーチ]

麻生 ○35-15● グリーン

編集後記

小学校6年生、中学校3年生、卒業おめでとう。

この文集を読んでいると、それぞれが自分の言葉でラグビーの貴重な経験を述べてくれている。皆が立派に成長したことが良く伝わってきます。しかし、長い人生の中で、今はあくまで通過点です。今後も今までの経験を生かし更に高いところに挑戦してください。ラグビーで培ったチームワークを大切にしながら。

さて、私事ですが、今回を持って編集長を退任します。昨年あたりから、私の仕事が極めて忙しくなり、なかなか編集作業に時間が取れない状態で、ある意味、限界に達していました。また、今後は若くて優秀なコーチ達がスクールを引っ張っていかないとスクールの発展はありません。

皆様に似はいろいろとご迷惑をかけてきたところもありましたが、私自身には大変楽しく、やりがいのある仕事でした。今後は一読者として陰ながらリトルラグメンの発展を応援していきたいと思います。

今まで長い間お付き合いいただいた編集委員の皆さん、有難うございました。麻生ラグビースクールのますますの発展を願っています。(編集長 毛利)

今回のリトルラグメンは35周年記念誌の編集作業と同時並行で進めたため、原稿を書いていただく子供たち、ご父母、担当コーチにかなりのご負担をおかけしました。編集にもあまり時間が取れませんでした。卒業生にとっては最後のリトルラグメンですので、手を抜かず、きっちり仕上げられたのではと思います。(副編集長 野田)